



第2回 名寄川地区かわまちづくりワーキンググループ議事録

開催概要

日 時：平成 31（2019）年 2 月 20 日（水） 午前 10:00-12:00

会 場：ガーデニング・フォレスト「フレペ」（北海道 下川町）

出席者：畑中委員、藤原委員、メドウズ委員、竹山委員、三浦委員、高松委員、南委員、田中委員、山地委員
（以上 9 名）

内 容：検討報告・話題提供と意見交換会

議 題：名寄川地区かわまちづくり計画について

1 開 会

2 これまでの取り組み

- 1) 試走会・勉強会
- 2) 第 1 回ワーキング
- 3) 本年度の取組内容

3 今後の取り組み

- 1) かわまちづくりを活用した地域活性化方策
- 2) スケジュール

4 情報提供：「美瑛川・青い池サイクリングコースの整備・利用状況」の紹介

5 意見交換

6 閉 会

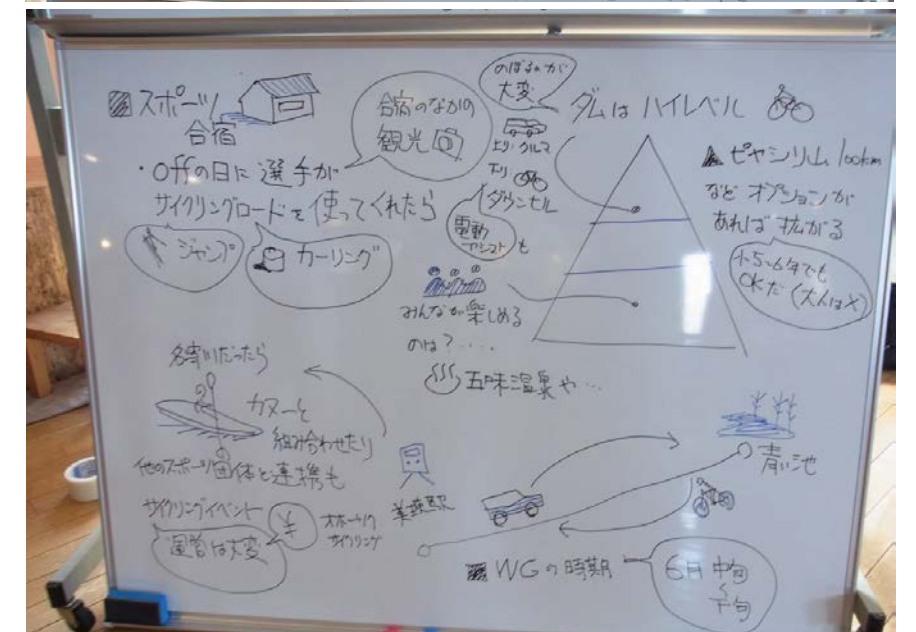
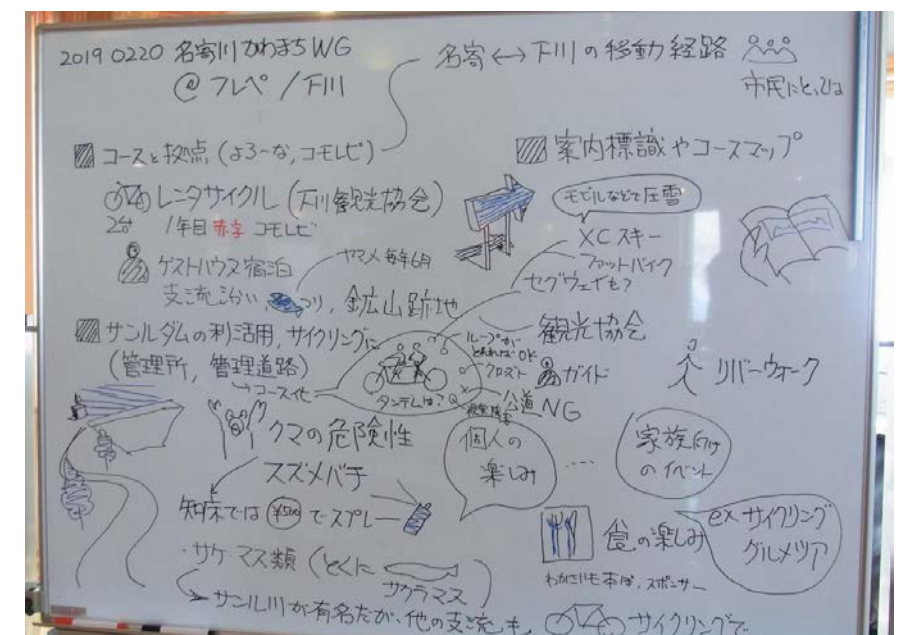
（参加者集合写真）



（意見交換の状況）



（意見整理のための会場メモ）



（意見交換議事録）

（１）コースと拠点（よろーな、コモレビ）

- ・下川町観光協会では、レンタサイクル（２台）の貸出しを今年度からコモレビではじめた。まだ赤字の状況である。利用者は、ゲストハウスに宿泊する旅行者など。支流沿いの釣り、鉱山跡地の見学などに利用された。
- ・名寄川沿いのコースは、市民・町民にとっては、名寄←→下川の移動経路のひとつになるだろう。

（２）サンルダムの利活用

- ・クマの危険性がある。知床では来訪者に有料（¥500）でクマよけスプレーを提供していた。また、スズメバチの恐れもあるだろう。
- ・サンル川のサケ・マス類（とくにサクラマス）が有名だが、他の支流にも生息しており、「リバーウォーク」や、サイクリングで巡ることができるだろう。
- ・クマよけスプレーの効果も万全ではなく、ガイドするからには責任も生じる。こういったリスクのある活動は個人の楽しみとしてありうるが、一方では家族向けのコースやイベントがあるべきだろう。例えば食の楽しみ、「サイクリンググルメツアー」など。例えば洞爺湖では、わかさいも本舗がスポンサーとなってお菓子を提供している。
- ・公道を走ることのできないタンデム自転車（２人乗り車）のコースにできないか。公道を通らないループのコースを取ることができないか検討したい。ファットバイクやクロスカン트리ースキー、セグウェイのコースとしても転用できるかもしれない。また視覚障害者が自転車を楽しむ機会にもなるだろう。
- ・ダムまでのサイクリングコースはハイレベルだ。みんなで楽しめるコースは五味温泉など。
- ・ダムまで、のぼりはクルマで上がってしまい、くだりは自転車でダウンヒルを楽しむという利用もあるだろう。美瑛川では、美瑛の市街地から、青い池まで送迎するサービスを実施している。
- ・前回の WG でも提案したが、ピヤシリ山 100 km コースなどのオプションと組み合わせればコースがひろがる。山を登るコースは、意外に小学校 5, 6 年生でもこなせてしまう。但し、大人はだめだ・笑。
- ・クルマの送迎のほか、電動アシスト自転車の利用も考えられる。

（３）サイクリングと他のスポーツの連携

- ・スキージャンプやカーリングなどの合宿が行われる状況である。オフの日に、合宿中の観光にもなるアクティビティがないかとのニーズがある。サイクリングはこれに応えることができるだろう。
- ・名寄・下川ならではのアクティビティとしてはカヌーがある。他のスポーツ団体と連携してサイクリングとカヌーを組み合わせることも考えられる。

- ・サイクリングイベントの運営は大変だ。歴史のある「オホーツクサイクリング」は、このところ安全管理などのコストのため参加費が上昇し、一方で、参加者からは食べ物が貧弱になったとの感想も聞かれるようだ。

（４）次年度のワーキング会議の開催

- ・ワーキング会議を２回開催する予定だ。年度の前半と、今頃（２月）の時期と考えている。１回目は試走会と一緒に開催する案もある。
- ・（参加者から）６月中旬～下旬の開催がよいようだ。

(検討リスト：提案事項と実施主体・スケジュール)

検討テーマ	検討項目（WG により提案された意見） 第 2 回 WG の意見 第 1 回 WG の意見	実施主体				目標スケジュール （短 期）サイクリングコース整備と並行 （中長期）サイクリングコースの定着により			
		開発局	自治体	観光協会	サイクリング 団体・その他 の民間団体	短期： 3～5 年 以内	中長期： 5 年～	難 関 ★	特記事項
■コースと拠点（よろーな、コモレビ）	・拠点でレンタサイクルの貸出し			●		#			コモレビで H30 年度より実施中（2 台）
	・ピヤシリ山 100 kmコースなど、周辺ルートとの連続的な利用促進			●	●	#			
	・名寄川の支川を自転車で渡るための施設の整備	●				#			函渠など検討・計画中
	・景勝ポイントを通る迂回ルートの設定 （幕別箸付近南側の旧国道ルート、サンルダム）	●	●	●		#			
	・拠点レンタサイクルの相互利用（片道の“乗り捨て”利用）			●			#	★	
	・拠点施設のサイクルステーション化（サイクルラックや空気入れ・修理キットなど設備の設置）		●	●		#			
	・ルート案内標識の設置	●					#		
	・上名寄付近への給水所・トイレの設置		●				#	★	
	・サイクリングコース周辺のトイレ情報の提供 （上名寄バス停のトイレや下川町農業研修道場）			●		#			
	・サポートする自動車とのミーティングポイント（駐輪場）の整備	●					#	★	
	・水辺に近づけるコースの整備（幕別橋上流付近は適地）	●					#		
	・サイクリングコースへの照明設置	●	●				#	★	
■サンルダムの利活用	・ダム管理道路を活用するコースの設定・整備（舗装、案内標識など）	●				#			
	・タンデム自転車（2 人乗り車）、ファットバイクやクロスカントリースキー、セグウェイのコースとしての活用（レンタル、ガイド）		●	●	●	#			
	・クルマによる送迎サービスのある自転車のダウンヒルプログラム				●	#			
	・電動アシスト自転車のレンタル			●	●	#			
	・ダム管理事務所の休憩利用	●				#			
	・ダム湖を活用したトライアスロン（水泳、自転車、ランニング）の大会を開催		●	●	●		#	★	
■サイクリングと他のスポーツの連携	・スポーツ合宿の際の観光を兼ねたアクティビティとしての紹介		●	●	●	#			
	・サイクリングと、カヌーなど名寄川の特性を活かした他のスポーツ団体と連携したプログラムの開発			●	●	#			
	・サケ・マス類の釣り、「リバーウォーク」などのレクリエーション活動とサイクリングを組み合わせたプログラムの開発			●	●	#			クマやハチの対策を合わせて実施